



川口市議会議員

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

いかり 康雄



政策力で!

今の川口を変える 将来の川口を創る

芝地区編

もっと住みやすい芝地区を目指して

芝地区の人口は約8万2,000人、川口市内10地区のなかで最も人口が多い地区です。川口市は最近まで人口の増加傾向ですが、芝地区では人口の減少がみられます。将来に向けて地域の活気を維持・発展させるためには抜本的な取り組みが必要です。



1 蕨駅周辺の抜本的整備を

蕨駅の利用者は約6万人、地域住民にとって大切な交通基盤であり川口市の「西の玄関」ともいえる存在です。

しかし、駅の施設や周辺状況は、利用者の数に比べ十分なものではありません。特に、東口では朝の混雑時にはエスカレーターの前に長い列ができるなど、不便な状況が続いています。また、バス停も散在しており、利用しにくい状態が続いています。

そこで、市議会3月定例会で抜本的な改善を提起しました。駅周辺のビルを巻き込んだ



通勤・通学客で混雑する東口のエスカレーター

再開発を進め、土地の有効利用をすることにより、周辺ビルの商業施設としての機能を発展させつつ、駅前ロータリーやバス停などのスペース



狭い歩道上のバス停（蕨駅東口）

を生み出すことができます。蕨駅周辺のビルは、すでに建替え期を迎えているものが多いと考えられるため、このまま放置すれば個別に建て替えが進んでしまいます。今、取り組みを始めなければ整備の機会が失われてしまいます。蕨駅周辺の整備が「待ったなし」です。

蕨市との連携が不可欠であることから、自治体と民間の協働とともに市域を越えた蕨市との密接な関係づくりが強く望まれます。